

取組事例

認知症カフェ「しろうおカフェおれんじ」



取組のきっかけ、経過

社会福祉法人ちどり福祉会は法人設立以来、福岡市東区で高齢者福祉事業を運営してきた。開設当初から法人単独で地域公益活動(地域行事の手伝い等)を行っていたが、法人単独での活動には限界があった。そのような状況の中、同法人が運営する地域包括支援センターに地域住民の相談から、初めて要介護認定を申請した結果、要介護4の結果が出た事を受け、“もっと早く気軽に相談ができる窓口があれば”という思いから、認知症カフェの実施を検討した。認知症カフェを始めるにあたり、法人単独ではなく、複数の介護サービス事業所や障がい者施設、病院、社協等に協力を呼びかけ、事業所ネットワーク「ひがしかぜの会」を立ち上げ、平成29年9月より認知症カフェの運営を始めた。

取組内容

- ・実施期間:毎月1回(毎月第4土曜日)
- ・実施場所:主に多々良公民館で実施。出張カフェも行っている。
- ・実施内容:毎回、2時間程度のプログラムで、ひがしかぜの会のメンバーである医師や歯科医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、ケアマネージャー等の専門職による講話をはじめ、音楽療法士やボランティアによる音楽演奏、専門職による相談コーナー・カフェコーナーの設置、芸術ワークショップ等を行っている。
- ・オランダ方式の認知症カフェを実施しており、認知症の方だけでなく、家族、地域住民など、その人に関わる方々が参加をし、知識などを共有しながら、新たなネットワークを形成することを目指している。

活動実績

| 時期     | 実施回数   |       | 参加者   |    |      |     |        |        |      |        |
|--------|--------|-------|-------|----|------|-----|--------|--------|------|--------|
|        | 多々良公民館 | 出張カフェ | 認知症の方 | 家族 | 地域住民 | その他 | 運営スタッフ | ボランティア | 参加総数 | 平均参加者数 |
| 平成29年度 | 7      | 0     | 12    | 5  | 96   | 18  | 70     | 1      | 231  | 33     |
| 平成30年度 | 12     | 3     | 6     | 10 | 260  | 44  | 174    | 35     | 529  | 35.3   |
| 令和元年度  | 11     | 1     | 35    | 3  | 234  | 28  | 118    | 35     | 453  | 41.2   |

